



オールIPトリプルプレイの草分け イタリアFASTWEBの最新事情

情報通信総合研究所

はった けいこ
八田 恵子
さくらい やすお
櫻井 康雄

欧州では早い時期からIP技術を用いたトリプルプレイへの取り組みがなされてきました。中でも、イタリアの新興通信事業者FASTWEBが提供するサービスは、FTTHを用いた本格的なオールIPのトリプルプレイの草分け的存在として大きく注目されています。ここでは、複数の通信・放送サービスを統合しIPで提供していくという、現在のブロードバンド・サービスのすう勢の1つの典型例として、FASTWEBのサービスの概要を紹介します。

FASTWEBの概要

会社概要

FASTWEBは、1999年にミラノでe.Biscom（持株会社）の傘下のISP（Internet Service Provider）として設立されました。FASTWEBは積極的にブロードバンド（FTTH/ADSL）を展開してきており、固定網通信事業でトップのテレコムイタリアに次ぐ事業者として注目を浴びています。2004年12月にe.BiscomとFASTWEBは合併し、社名はFASTWEBになりました（表）。

事業戦略

FASTWEBは、FTTH/ADSL上でオールIPのトリプルプレイ（音声、インターネット、映像）を提供することを事

業戦略として明確に掲げています。この戦略の背景には、イタリアではケーブルTV普及率が低いこと、ブロードバンドがまだ発展途上にあること、FASTWEBは現在までのところトリプルプレイを提供している唯一の事業者であることなどがあります（昨年12月からテレコムイタリアもトリプルプレイに参入しています）。

トリプルプレイを提供する目的には、ユーザの多様なニーズにこたえサービスの魅力を高めること、そしてARPU（Average Revenue Per User：顧客当りの収入単価）を上昇させる意図があると考えられます。

なお、インフラのFTTH網は自グループで建設し、ADSLはテレコムイタリアの回線を利用しています。

事業フォーメーション

FASTWEBは自グループ内にコンテンツプロバイダを持つ垂直統合的な構造をとっています。FASTWEBは、傘下にコンテンツプロバイダとしてe.Bismedia（FASTWEBが100%出資）およびRai Click（イタリアの公共放送のRaiが60%、FASTWEBが40%出資）を持っています。e.BismediaはVOD（Video On Demand）のONtvやペイTVサービスを提供し、Rai ClickもVODを提供しています（図1）。

欧州におけるFASTWEB以外のトリプルプレイ

欧州ではFASTWEB以外にも英国のキングストン・コミュニケーションズ、ビデオ・ネットワークスやフランスのフリー、フランステレコム、ヌフテレコムがADSL上でトリプルプレイあるいは映像サービスを提供しています。FASTWEBはFTTH/ADSLの両方で提供している点、およびビジネスモデルを成功させ高いARPUを達成している点が特徴的です。

サービスの概要

サービス構成と料金体系

FASTWEBが提供するサービスは、「FASTWEB Base（ファストウェブバーゼ）」という基本のサービス（月額25ユーロ、1ユーロ約140円）に、イン

表 FASTWEBの沿革

1999年9月	設立
2000年1月	最初の企業ユーザ契約
2000年10月	個人ユーザ向けサービス開始
2001年3月	VODサービス開始
2001年5月	サービスエリアをイタリア全国へ向けて拡大
2001年7月	xDSLサービス開始
2002年11月	映像コミュニケーションサービス開始
2003年3月	ADSL上のVODサービス開始
2003年8月	ADSL上のTVサービス開始
2004年12月	e.BiscomはFASTWEBと合併、社名はFASTWEBへ
2005年9月	FASTWEBライト（シングルプレイ）提供開始

ターネット、IP電話、映像の各々のカテゴリーについてユーザがニーズに応じさまざまなオプションを加える構成になっています(図2)。なお、昨年9月からインターネットだけのサービスであるFASTWEBライト(単一のサービスの意味から、シングルプレイとも呼ばれます)も登場しました。

トリプルプレイの場合は、STBのレンタル料(月額7ユーロ)が別途必要となります。

なお、サービスの宅内の構成は図3、画面は図4のとおりです。

各サービスの内容

各サービスの内容は次のとおりです。

(1) インターネット

FTTHの場合は最大10 Mbit/s、ADSLの場合は最大6 Mbit/sです。無線インターネット(Wi-Fi)も利用することができます。

(2) IP電話

FASTWEBのユーザ間の通話料は無料です。キャッチホン、転送サービス等の機能を付加することができ、ユーザが他社からFASTWEBに変更する際のナンバーポータビリティに対応しています。

(3) 映像

地上放送再送信(無料)：イタリアの主要な地上放送8チャンネル(RAI UNO, RAI DUE, RAI TRE, RETE4, CANALE5, ITALIA1, LA7, MTV ITALIA)が視聴できます。

衛星放送(スカイイタリア)再送信(無料)：7チャンネル(BBC World, Bloomberg, RAI News24, RAI Sport, TV5 Europe, TVE International, Music Box)が視聴できます。

衛星放送(スカイイタリア)再送信(有料)

・**専門チャンネル：**10チャンネル(CNN, Cartoon Network, Disney Channel, Roma Channel, Inter Channel, Milan Channel, ESPN Classic Sport, Classica, Caccia e Pesca, Sailing Channel)が視聴

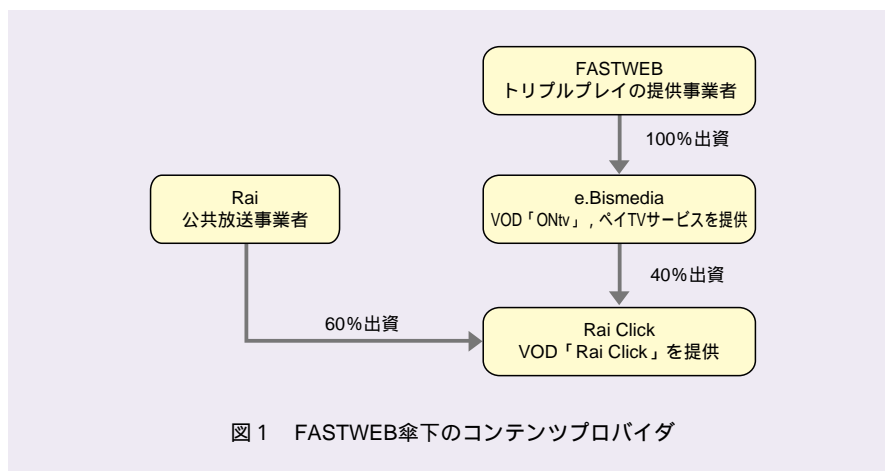


図1 FASTWEB傘下のコンテンツプロバイダ

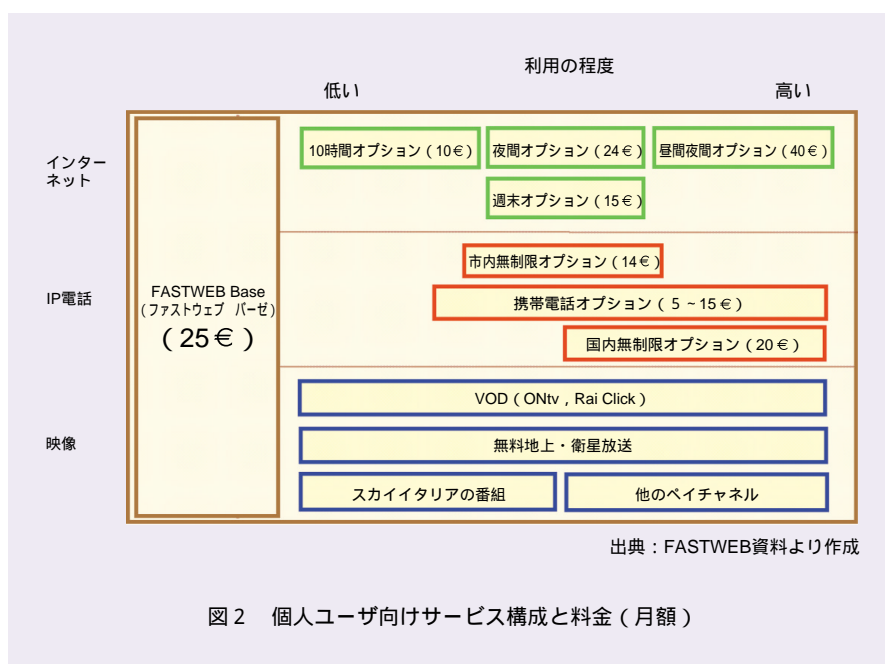


図2 個人ユーザ向けサービス構成と料金(月額)

できます。各チャンネルは月額2~8ユーロです。

・**PayTV：**サッカー、映画等のパッケージ。サッカーパッケージの場合は月額28ユーロです。

VOD(有料)：ONtvとRai Clickの2つのVODがあり、ONtvは基本料月額8ユーロでベーシックなオンデマンド番組が視聴でき、さらにプレミアム番組を1タイトル2~7ユーロで視聴可能。全タイトル数は約5000にのぼります。

Network based PVR(Personal Video Recorder) (有料)：地上放送(8チャンネル：図5)をネットワーク上のサーバに録画し、再生、

視聴できるサービスで、録画はネットワーク上のサーバ上に蓄積されるため、ユーザは自宅以外の場所からも利用することが可能です。なお、衛星放送、PayTVは録画することはできません。5時間まで録画の料金はONtvの基本料に含まれており、5時間の枠内で古い番組をキャンセルしながら新しい番組を録画するという利用の仕方が一般的です。TV、PCのどちらでもこのサービスを利用できます。仮に日本でこのようなサービスを導入する場合には、著作権の侵害(私的利用の範囲を超える可能性)について留意する必要があります。

(4) 映像コミュニケーション (TV電話)

TV受像機にTVcamと呼ばれるカメラ端末を接続し、電話機で相手と会話しながら映像の送受信を行うことができます。

サービスの提供状況

(1) 提供エリア

FASTWEBは、2001年から提供エリアを拡大し、昨年にはおおむね全国をカバーするに至っています(図6)。昨年9月には85の都市をカバーし、サービス提供対象世帯は750万世帯と、全国の約3分の1の世帯をカバーするに至っています。

(2) ユーザ数 (法人・個人)

FASTWEBのユーザ数は、64万4000(昨年9月末)で対前年比41%増と大きく伸長しています。企業ユーザについては、数では全体の15%ですが、収益は全体の56%を占めています。また個人ユーザについては数では85%、収益は全体の44%を占めています。なお、ユーザ全体のうち、FTTH利用は39%、DSL利用は61%を占めています。

(3) 映像サービスを受ける比率

個人ユーザのうち映像サービスを受けている比率は41%にのぼっています。トリプルプレイの中で、映像サービスに対する支持が少なくないことが分かります。

(4) ARPU

個人ユーザのARPUは、昨年9月末で年額887ユーロ(通信サービス部分が817ユーロ、映像部分が70ユーロ)で、換算すると、月額10350円となり、日本と比べると高い水準にあることが分かります。

魅力あるコンテンツとアプリケーション

FASTWEBのサービスが普及を続け、収益を拡大している要因の1つとして、ユーザの立場に立って魅力あるコンテンツを提供していることが挙げられます。

(1) カラーコンテンツの提供

よく知られるように、イタリアではサッカーの人气が非常に高く、熱狂的な

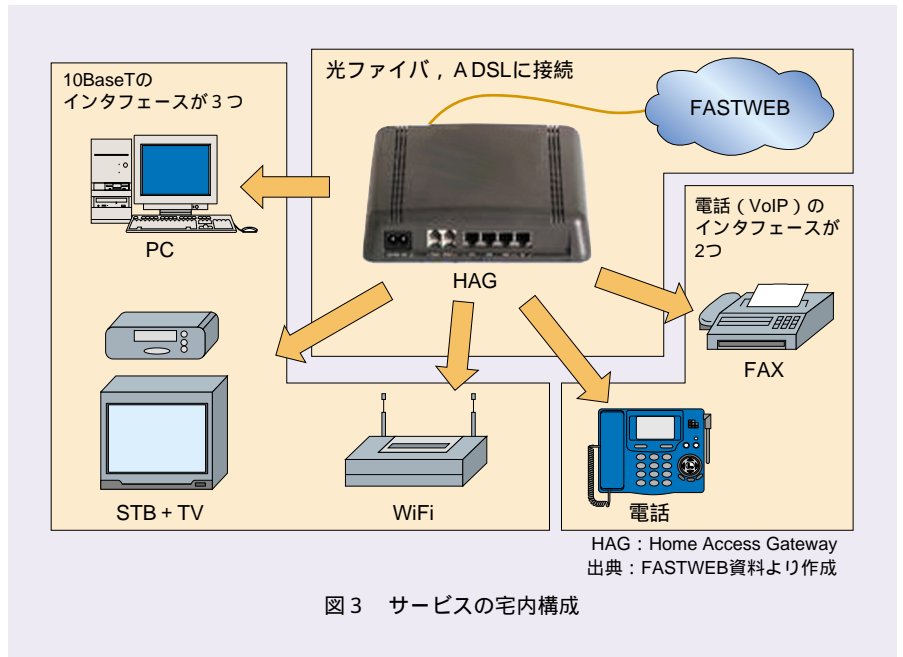


図3 サービスの宅内構成



図4 サービス画面

ファンが少なくありません。しかし、地上放送では全部のゲームを放送しているわけではなく、またケーブルTVの世帯普及率が0.8%と低く、衛星放送はスカイイタリア1社が提供しているだけです。FASTWEBの成功に関して、サッカーというキラーコンテンツの存在が鍵となっていた点は否定できないでしょう。

(2) パッケージの細分化

FASTWEBは、スカイイタリアからサッカーなどの人気番組の供給を受け、

番組パッケージを細分化し組み換えて、スカイイタリアより安くユーザに提供しています。ユーザニーズに細かに対応していこうとするFASTWEBの姿勢がうかがえます。なお、テレビとストリームが合併しスカイイタリアが誕生する際、欧州委員会はコンテンツの排他的供給を禁じる条件を課したという経緯などを経て、スカイイタリアは競争相手となるFASTWEBに対しても番組供給を行っています。

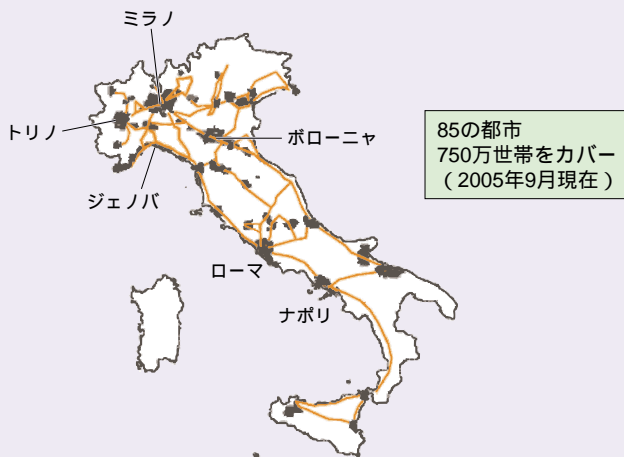


- ・上記の画面のように、チャンネルごとに番組スケジュールが分かる
- ・録画の際は、録画したいチャンネル、時間帯を選択し、入力する
- ・月間の録画件数は40万件にのぼる（昨年11月25日報道発表より）

出典：FASTWEB資料より作成



図5 PVRの画面

いくつかの要因があります。特に、ケーブルTVの普及の低さに代表されるように、イタリアにおいて有料TV市場が未発達であった点は見逃せません。FASTWEBという革新的な事業者の登場を契機として、当局の後押しもありましたが、結果的にこの市場の競争を抑制しているコンテンツの独占性が打破され、有料TV市場の競争が起こり、魅力あるコンテンツが消費者にとってより身近になりました。このような好ましい筋書きが実現したのは、サッカーというキラーコンテンツが存在したためとも考えられるかもしれませんが。映像サービスは、通信事業者にとってはトリプルプレイの要となる新しい分野です。トリプルプレイの成功を導くためには、映像サービスの市場をいかに開拓・普及させていくかという通信事業者自身による戦略が不可欠であることが、FASTWEBの成功から読み取れるといえるでしょう。



出典：FASTWEB資料（3Q2005 Results Presentation, p.3, Nov. 2005）より作成
<http://company.fastweb.it/files/7/FASTWEB%20-%203Q%202005%20Results%20Presentation.pdf>

図6 提供エリア

(左より) 八田 恵子 / 櫻井 康雄

通信と放送，移動と固定 - 従来の業界区分がますます不明瞭になっていく中，規制当局も含めて頭の切替えが一層頻繁に必要なようになっていくでしょう。今後もさまざまな興味深い問題から目が離せません（八田）。

通信放送融合の将来像を探りながら，放送事業者・通信事業者双方にとって有効なビジネス機会のヒントを見つけたいと考えています（櫻井）。

問い合わせ先
 情報通信総合研究所
 マーケティング・ソリューション研究グループ
 FAX 03-3663-7660
 E-mail sakurai@icr.co.jp

(3) 新味あるアプリケーションと選択性

FASTWEBは、Network based PVRやTV電話のように、従来のサービスや他社が提供するサービスに比べ新味あるアプリケーションを提供しています。またFASTWEBライトのように、ユーザにとっての選択枝を増やすようなサービスも提供しており、ユーザにとっては、多

くの選択枝から好みに従って選べるというメリットがあります。

通信事業者自身のコンテンツ戦略が重要

FASTWEBによるトリプルプレイは、今後日本でも本格化するであろうトリプルプレイの先行事例として参考となると考えられます。同社の成功の背景には、